

ハイパーサーミアの保全について

原三信病院 放射線治療・ハイパーサーミアセンター

元村 哲也, 真鍋 麻実, 嶽本 洋, 井上 文江, 古藤 和浩, 寺嶋 廣美

「過つは人の性, 許すは神の業」, 「To Err is Human」と同様に, 人は間違えるものだということを表している。ヒューマンエラーは, 人間が介在する状況において常に起こりうることである。ヒューマンエラーとは人が起こすミス, つまり人為的なミスのことで, 達成しようとした目的とは逸脱した結果に至った行為のことであり, 簡単に言うと意図しなかった結果に至った行為のことをいう。そこに至らないようにする為の安全機構としてフルプルーフ, フェイルセーフというものがある。フルプルーフとは利用者が操作や取扱い方を誤っても危険が生じない, あるいはそもそも誤った操作や危険な使い方が出来ないような構造や仕掛けのこと。フェイルセーフとはなんらかの装置・システムにおいて, 誤操作・誤動作による障害が発生した場合, 常に安全側に制御すること。またはそうなるような設計手法で信頼性設計の一つである。

また突発的な故障を未然に防ぐために保全という言葉がある。保全は3種類あり事後保全, 予防保全, 予知保全がある。事後保全は壊れたら修理する, 予防保全は対応年数や対応時間が来たら修理する, 予知保全は機器の状態を監視し, 故障や不具合の兆候が出たら修理するである。

今回保全について当院で発生した事例を元に見直したので報告する。